

皆さんの声をまちづくりに活かすために

ハートフル対話2012を開催

たくさんのご参加・ご意見ありがとうございました

町では、町民の皆さんと町政について語り合う座談会「ハートフル対話2012」を、11月6日から30日にかけて町内4会場で6回開催し、325人の方にご参加いただきました。

ハ

ートフル対話は、山口町長と町民の皆さんがまちづくりについて意見交換を行うことで、町政について一層のご理解とご関心を持っていただくとともに、各会場で伺ったご意見をまちづくりに活かすことを目的に、平成11年から毎年開催しています。

今年のハートフル対話では、重点施策の「生涯学習の推進」や「健康づくりの推進」について、また国の原子力政策と町の対応等について説明しました。

その後、ご参加いただいた

方からのご質問やご意見に対して、山口町長が説明や回答を行いました。
今月号では、対話の中でいただいたご質問やご意見の一部を紹介します。



公金の管理について

問 近隣の自治体で職員による公金横領があったが、美浜町での監査体制や職員への指導はどうなっているのですか。

答 通常の公金の出入金では、しっかりとしたチェック体制で、問題が起きないようにしています。

外郭団体の経理については、町の財務規則に準じた経理事務取扱要領を定め、通帳と公印の管理を厳重にするとともに、収入・支出の際には、必ず決裁によって適正な執行を確認しています。また、年に何度かの監査と決算報告を行い、不正を起させないチェック体制をとっています。

原子力について

問 今後、美浜発電所はどうなっていくのですか。

答 国が9月に策定した「革新的エネルギー・環境戦略」は、原発に依存しない社会の一日も早い実現を掲げ、①40年運転制限を厳格に適用する、②原子力規制委員会の安全確認を得たもののみ再稼動する、③原発の新増設は行わないという3原則等が謳われています。

しかし、「戦略」自体が閣議決定された訳ではありません。また、40年

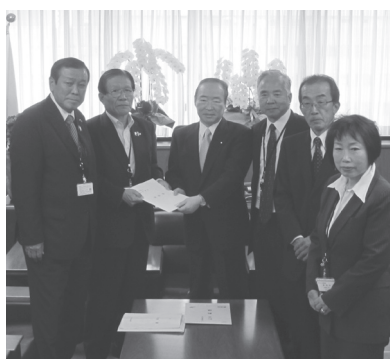
運転制限については、40年で運転停止させるという制度ではなく、新たに定められる安全基準に適合すれば、1回に限り最長で20年の運転延長が認められます。

新たな安全基準は来年7月に示されるとされており、その基準に対して事業者がどう判断し、必要な対策を行っていくかによって、今後運転を延長するかしないかが決まってくると思います。

問 美浜発電所は1年半停止しており、そろそろ雇用不安が起きるのではと思います。国や町では、何か経済対策をしないのですか。

答 国に対しては支援を要請していますが、現行の中小企業支援制度の活用や、立地地域の状況を把握した上で検討していきたいとの回答でした。

要望は県も一緒になって行っているため、今後も引き続き要望していきたいと考えています。



↑ 松宮経済産業副大臣(当時)へ、町議会とともに要請書を手渡す山口町長(10月26日)

原子力災害時の避難について

問 原子力災害により避難が必要となった場合、避難先はおおい町ということですが、逆に他自治体の住民が美浜に避難してくることはあるのですか。

また、避難方法は原則自家用車となっていますが、全員が自家用車で移動できないし、渋滞や駐車場の問題もでてくると思うのですが…

答 県では6月に、国の防災基本計画及び原子力災害対策指針の見直しが行われるまでの暫定的な措置として、原子力災害時における避難先を定めました。美浜町は、おおい町の各施設に避難することになっています(13頁参照)。なお、暫定計画では、他の自治体の方が美浜町に避難してくることはありません。

おおい町までは通常1時間ぐらいで移動できますが、県の試算では、全町民の避難には混雑時は約6時間かかる想定しています。福島事故では、放射性物質が放出されるまでには相当の時間的猶予がありました。

なお、現在、原子力防災計画の見直しを進めており、より安全により確実な避難方法や経路等を検討していきたいと考えています。

また、自家用車を持たない交通弱者への対応は、国の指針に基づき見

直す町の地域防災計画で盛り込んでいきたいと思っています。

滋賀県への道路について

問 新庄から滋賀県へ抜ける道路を整備してください。避難道路としてだけでなく、観光の面でも役立つと思います。

答 新庄から滋賀県へ通じる道路については、以前から県に対して要望しています。

県では、福島の事故を踏まえて、昨年度、道路整備の概略調査を実施しましたが、滋賀県側の計画が全くなく、話は進展していないのが現状です。今後も粘り強く要望を続けたいと考えています。

獣肉の活用について

問 有害獣として駆除された鹿の肉を、町内の民宿等で活用する等、美浜町の新たな産物にしてはどうでしょうか。

答 若狭町の海士坂に、有害獣として駆除された鹿や猪等を焼却処分する施設があります。施設には、鹿肉加工施設が併設される予定です。

加工施設が動き始めたら、鹿肉を町内の民宿等に提供できる体制が整うかと思っています。

総合振興計画について

問 町の総合振興計画は平成27年を目標に策定されていますが、昨今の状況を踏まえ、早めに見直してはどうでしょうか。

答 第四次美浜町総合振興計画は、まちづくりの基本理念と将来像を示し、その達成に向けての基本的な施策を体系的にまとめたものです。計画期間は平成18年度から平成27年度までとなっています。

示された施策を推進するにあたっては、実施計画を定め、予算編成の指針としています。実施計画は3か年で、必要性、緊急性等を総合的に検討し、財政事情を勘案しながら毎年見直しを行っています。

3・11までは、ある程度の財源見通しに基づき、計画を実行していました。しかしながら、原子力関係の交付金については、平成26年度以降が非常に不透明な状況となっており、今後大きな事業を実施する際は、財源が確実に確保できてから実施するという方向で実施計画を見直すこととしました。最終年度までは実施計画を見直すことで、対応していきたいと思っています。

公共施設の使用料について

問 公共施設の使用料等を見直すと

のことですが、どのような内容なのですか。

答 公の施設の使用料等については、その適正化に向けた取り組みを進めています。

町民、施設利用者、有識者、議会代表で構成される施設使用料等適正化検討委員会から意見書もいただいており、利用者負担の原則のもと、統一した基準を設定し、利用する者と利用しない者との公平性を確保するため、使用料と減免制度の適正化に関する検討を行っています。

平成25年4月1日から実施してきたいと考えており、詳細は12月議会です。具体的な話についていくことになります。新たな使用料等が決まりましたら、広報紙やホームページを通じて、町民の皆さんにしっかりとお知らせしていきます。



↑公共施設の使用料等の適正化に向けて、意見書を提出する杉木繁行委員長

健康づくりについて

問 健康づくりを推進するにあたっては、まず食生活が大事であると思っています。

そこで提案があります。町内において、元気な高齢者のこれまでの食生活と、若くして生活習慣病になった人の食生活を調査・比較してみたいかがでしょうか。そうすれば、どのような食生活が健康によいか分かると思います。国からの情報だけでなく、身近な所で情報を集めることも大切だと思います。

答 美浜町では、高血圧や糖尿病、高脂血症の生活習慣病の割合が高いというデータがあります。生活習慣病は食生活の影響が大きく、特に美浜町では、塩分の取り過ぎや食べ過ぎが生活習慣病を引き起こす原因となっています。

現在、町では、次年度からの健康づくり計画の策定を進めており、生活習慣病の予防に向け、減塩と減量を目標とした「げんげん運動」の取り組みに力を入れているところです。

ご提言いただいたことについては、健康づくり課で検討させていただきたいと思っています。

なびあすのピアノについて

問 生涯学習センターなびあすのピ

アノは素晴らしいと思います。このピアノを活用して、町を全国にPRしていくとよいのではないのでしょうか。

答 ピアノについては賛否両論ありましたが、今後どう活用していくかが重要だと思っています。

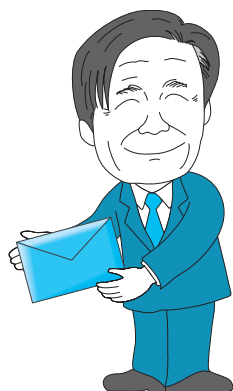
ピアノには、いろいろな所から問い合わせがあり、ピアノ専門雑誌の取材も受けました。また、多くの町民の方に聞いて触れていただきたいという思いがあるので、月1回程度、「ピアノふれあいデー」を計画しています。

コンサートでは、ピアノを活用できるような内容を企画していきたいと思っています。

また、プロのピアニストにダイレクトメール等を送りピアノを紹介し、演奏や録音に来てもらえるよう働きかけていくことも考えています。



↑なびあすの文化ホールに導入した「ファツィオリ社製F308」



ご存知ですか？

治太やんBOX・ 治太やんメール



↑ 町役場(1階町民プラザ)に設置している治太やんBOX

町では、町民の皆さんにまちづくりに対してのご意見やご質問等をいただくための窓口として、お手紙でいただく「治太やんBOX」、電子メールやホームページからいただく「治太やんメール」を設置しています。皆さんからお寄せいただいたご意見等は、山口町長が必ず読み、回答を送らせていただいています。

● 町に対する「ご意見」・「ご要望」をお聞かせください！

※「治太やんBOX・治太やんメール」は常時受け付けています。

治太やんBOX

- ☐ 町役場(1階町民プラザ)
- ☐ 東部診療所
- ☐ 丹生診療所
- ☐ 総合体育館
- ☐ 保健福祉センターはあとぴあ(1階ふれあい広場)
- ☐ 生涯学習センターなびあす(総合案内)



↑ 診療所等に設置している治太やんBOX

治太やんメール

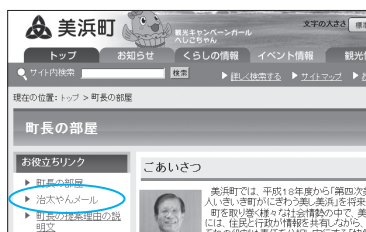
- ☐ 次のメールアドレスに直接送信してください。

jitayan@town.mihama.fukui.jp

- ☐ 町ホームページ (<http://www.town.mihama.fukui.jp>) を利用し送信してください。



① トップページ「町長の部屋」をクリック



② 「治太やんメール」をクリック

治太やんメールフォーム	
ご意見等の種類 (必須)	ご意見等の種類を選択してください
分類 (必須)	お問い合わせの種類を選択してください
件名	
内容 (必須)	
お名前	(例) 美浜太郎 (全角40文字以内)

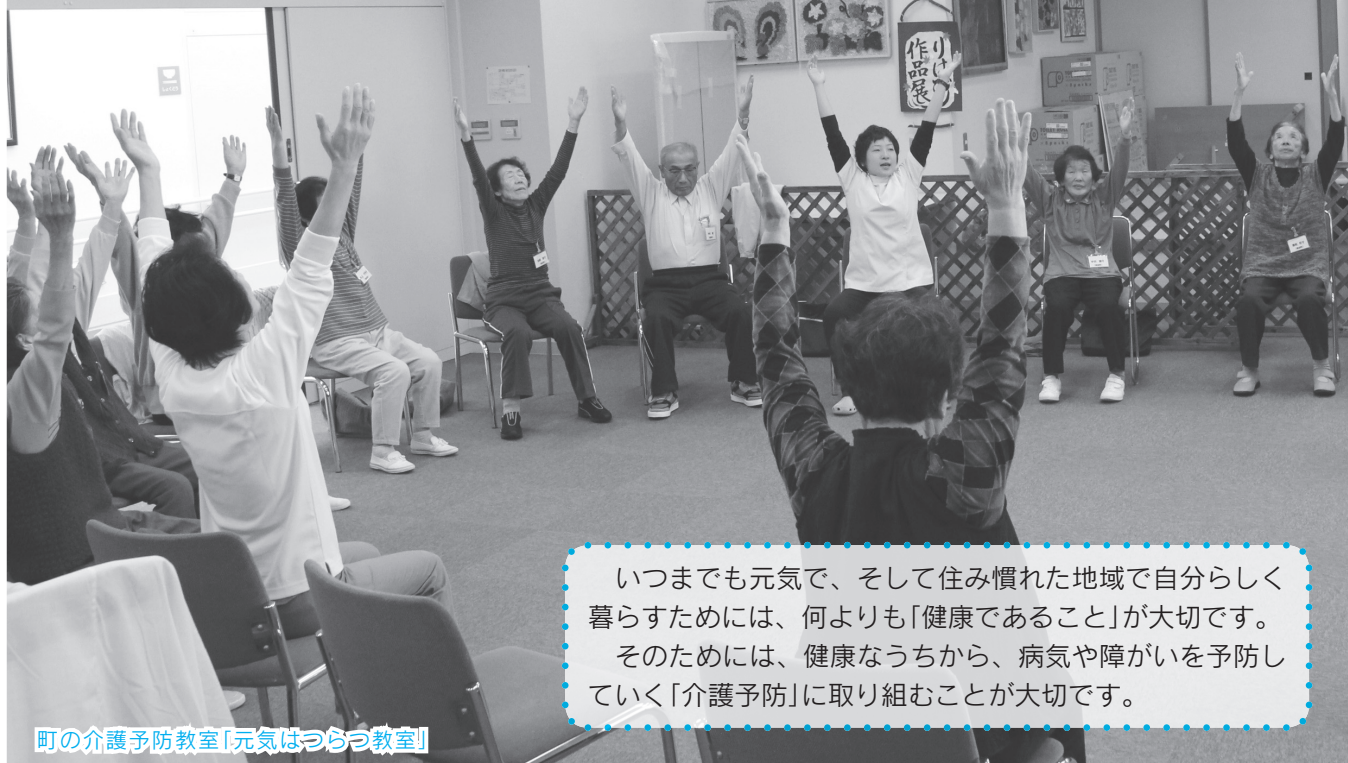
③ 「治太やんメールフォーム」にご意見等を記入し、送信してください。



「治太やんBOX・治太やんメール」を利用される場合、必ず住所と氏名の記入をお願いします。せっかく貴重なご意見をいただいても、氏名等が記入されていない場合、町長から具体的な回答をお届けすることができません。

※お問い合わせ先 町企画政策課 (担当・宇都宮) ☎ 32-6701

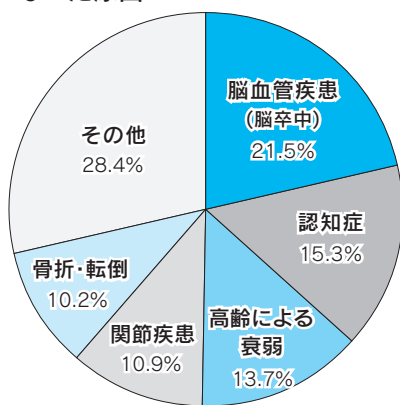
元気なうちから介護予防



いつまでも元気で、そして住み慣れた地域で自分らしく暮らすためには、何よりも「健康であること」が大切です。そのためには、健康なうちから、病気や障がいを予防していく「介護予防」に取り組むことが大切です。

町の介護予防教室「元気はつらつ教室」

□ 高齢者の介護が必要になった原因



(資料:平成22年国民生活基礎調査)

介護予防が必要な理由

介護が必要になる前に予防すること、生涯にわたり自立していくことができます。

高齢者が介護を必要とする原因は、老衰や認知症、関節疾患、骨折・転倒等、生活機能の低下によるものが多くなっています(左表参照)。

これらは早期に取り組めば予防できるものです。

寝たきりのきっかけは

身近なことから

介護が必要となってしまうきっかけは、「年をとって体を動かすことがおっくうになった」、「歯が抜けて食べ物思うように食べられなくなった」等です。一見寝たきりとは関係のないことのように思いますが、体を動かさなかったり、栄養が不足したりすれば、筋力が低下し、転倒しやすくなります。

つまずくことが多くなり、転んでしまう経験があると、転ぶのが怖くなつて外出を控えるようになり、次のような悪循環の結果、寝たきりになってしまいます。

◆寝たきりを引き起こす悪循環

- ① 最近、よくつまずくようになった
- ② 家の中や外出先で転んでしまった
- ③ 転ぶのが怖くて外出しなくなった
- ④ 動かないので食欲もわかず、欠食するようになった
- ⑤ まますます筋力が低下。立つこともままならない状態に
- ⑥ ついには寝たきりに…



簡単にできる 筋力アップ体操

年をとると足腰の機能は衰えます。自立した日常生活を送るには、下半身の筋力が特に大切です。意識して「体操」や「歩く」ことを、毎日の生活に取り入れましょう。

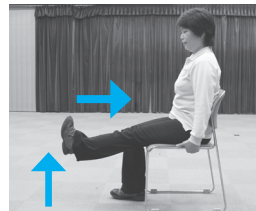
簡単にできる体操を紹介するので、毎日続けてみてください。

高齢者支援センター
坪塚保健師



片足上げ・膝伸ばし(左右)

- ①片足を上げ、足首を手前に曲げ、かかとを押し出すような感じで膝をゆっくりと伸ばす。
- ②そのまま足首を伸ばし、手前に曲げ、また伸ばした後、膝を曲げ、足を下ろす。(左右繰り返す)



かかとの上げ下げ

- ①イスの背に軽く手をつけ、両足をそろえて立つ。
- ②つま先を軸にかかとの上げ下げをゆっくり静かに繰り返す。



片足横上げ(左右)

- ①イスの背に軽く手をつけ、両足をそろえて立つ。
- ②片足を横へ軽く上げ3～5秒静止し、ゆっくり下ろす。(左右繰り返す)



※お問い合わせ先

町高齢者支援センター

☎ 32-6704

□ 元氣いきいき教室の日程

会場	日時
農村婦人の家 (山上)	1月18日(金) 9:30～
	2月22日(金) 9:30～
	3月22日(金) 9:30～
はあとびあ	1月17日(木) 9:50～
	2月21日(木) 9:50～
	3月21日(木) 9:50～

町では、介護予防教室として「元氣はつらつ教室」を開催しています。教室では、身体と脳を活性化するための口腔体操、栄養相談を行っています。今年度の日程は終了しましたが、来年度も開催しますので、ぜひご参加ください。

また、1月からは、「元氣いきいき教室」を次の日程で開催します。教室では、頭と体の体操を楽しみながら、介護予防に取り組みます。

参加を希望される方は、町高齢者支援センターまでお問い合わせください。参加費は無料です。

介護予防教室に

参加しませんか

介護予防教室に参加しています



木村 毅 さん

興道寺

教室には、足腰が悪くなり、友達のすすめもあったので参加することにしました。初めのうちは体を動かすのが辛かったのですが、回を重ねるごとに具合がよくなり、足腰の痛みがなくなってきました。

現在82歳ですが、この教室のおかげで、体の調子もよく、よく眠れます。今後も継続して参加したいと思っています。



南 幸 さん

佐柿

教室に参加して3年目になります。膝の具合が少しでもよくなったらいと、また家の外で人との交流を持ちたいと思い、参加しました。

この教室で習った体操を毎朝やることにしており、そうするとベットから降りた時、歩き始めるのが楽になります。また、教室で親しく話す友達もでき、ここに来るのが楽しんでいます。